

困難を抱える女性への支援事業【仙台市】

個別事業費	7,413 千円
交付金額	5,560 千円

地域の実情と課題

- ・女性は、半数以上が非正規雇用であり、2割前後で推移している男性と比べてその割合は高くなっている。出産や子育てによる就業の中断などを背景とした男女間、雇用形態間の賃金格差も大きく、女性は様々な年代で貧困などの生活上の困難に陥りやすい状況にある。
- ・貧困などの生活上の困難に陥り、生理用品など生活するうえで必要な物品の入手が難しい女性の存在も報道などで指摘されている。
- ・本市では、相談窓口により生活上の困難を抱える方の相談に対応しているが、敷居の高さを感じるなどの理由で相談窓口につながらない女性も一定数存在すると思われる。そのような実態に合わせた支援事業を実施する必要がある。

事業の特徴

- ①出張型相談事業
女性相談事業の相談員の他、様々な支援団体へ気軽に相談できる環境を提供した。
- ②レスパイト事業
対象者の状況に応じて、滞在期間中に居所支援や生活保護手続き支援等を進めるなど、次のステップに進むための支援を行った。
- ③相談機関等へのつながり支援事業
受け取った方が適切な相談窓口につながるができるよう、各種相談機関の情報や出張型相談事業のチラシを同封した。
- ④学び直しプログラム提供事業
個々の状況に合わせたキャリアカウンセリングと個別学習支援（月2回程度）を並行して実施するため、個別計画を策定し、伴走型の支援を実施した。

事業の効果

- ①出張型相談事業
相談につながる事が出来ていない女性における相談前のステップとして有効であった。支援団体間の今後の連携に向けた関係づくりの場もなった。
- ②レスパイト事業
既存の制度ではカバーしきれない支援の必要性が明らかになった。
- ③相談機関等へのつながり支援事業
支援につながっていない人に生理用品とあわせて支援先情報を届けることができた。相談機関を掲載したリーフをもって相談窓口を訪れるケースも見られた。
- ④学び直しプログラム提供事業
それぞれのキャリア目標に応じたプログラムの提供が出来た。また、学習意欲の向上が、自己肯定感の高揚や就業意欲の向上につながった様子が伺えた。

目的・目標

各事業ごとの来場者・利用者数等を増加させることで、女性の抱える様々な困難について支援を進めることを目的とする。

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業 目標	出張型相談会における来場者	延べ90人 (アウトカム)	延べ173人	192%
	レスパイト事業利用者数	15人 (アウトカム)	2人	13%
	生理用品の配布数	8,000個 (アウトプット)	8,000個	100%
	自己肯定感が向上した人の割合	70%以上 (アウトカム)	83%	119%

連携団体

- 「若年女性支援情報交換会」※以下構成団体
- ① 公益財団法人せんだい男女共同参画財団
 - ② 仙台市
 - ③ ①の関係団体（民間の各支援団体等）

今後の課題

- ①出張型相談事業
・若年層の女性をはじめ、困難な状況にある女性たちが参加しやすい開催時期・時間帯を引き続き検討する。
・新たな民間団体と連携するなど、より効果的な支援が行える体制を検討する。
- ②レスパイト事業
事業有効活用のため、引き続き各窓口担当部署への情報提供に努める。
- ③相談機関等へのつながり支援事業
配布終了後も困難を抱えた女性たちが必要な情報にアクセスできるよう、SNS等でも定期的に発信する。
- ④学び直しプログラム提供事業
各利用者の心身の状況に合わせた適切な支援の時期や回数となるように、柔軟に調整できるよう対応する。



事業の概要

① 出張型相談事業「女子のためのほっとスペース」

より困難な状況にある女性が支援者・支援機関とつながり、情報を得て選択肢を広げ自己決定に向けた歩みを進めることを支援するため、民間支援団体との連携による出張型相談会を実施した。

概要

- 日 時：①令和7年8月29日 17:00～20:30
②令和8年1月31日 13:00～16:30
- 来場者数：延べ173人
- 主 催：仙台市、(公財)せんだい男女共同参画財団
- 協力団体：延べ21団体 協賛：延べ12団体

チラシ・写真



実施内容

・お楽しみコーナー

小物づくりやセルフケア体験等で相談へのハードルを下げる

・困りごと相談

悩みに合わせて様々な支援団体が対応

・キッズコーナー

子ども連れでも参加できるように託児スタッフも常駐

・生理用品等の配布

生活困窮等への対応として生理用品や企業からの協賛品を配布

結果・実績

- ・相談者の話を聞きながら、絡まり合った困難な状況を紐解き、解決に向けて相談機関につなぐ機会となっており、相談につながる事が出来ていない女性における相談前のステップとして有効であった。
- ・加えて、複数の支援団体が合同で取り組むことで顔の見える関係をつくる事ができたことから、その後の支援活動の連携につながるきっかけづくりともなっている。

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	出張型相談会における来場者	延べ90人 (アウトカム)	延べ173人	192%

② レスパイト事業

何らかの困難を抱えた、既存のシェルター入所の枠組みに当てはまらない女性を対象に、いったん家族等から離れ、心と体を休めるための居場所を提供し、自己決定できる力の回復を促した。

概要

- 滞在期間：原則として1人1週間以内（次のステップへの準備期間）
- 対 象：仙台市内在住、または在勤・在学の18歳以上の女性
- 実施件数：2件（2人）、延べ宿泊件数5泊

実施内容

- ・仙台市内のホテルの一室を一時的な居場所として利用者に提供する。
- ・公的シェルターのように、滞在期間中の携帯電話の使用や外出を制限せず、仕事や学校にも通えるよう比較的自由度のある運用としている。
- ・対象者を匿うための支援ではなく、対象者の状況に応じて、滞在期間中に居所支援等を進める等、次のステップに進むための支援を行う。

結果・実績

- ・DVシェルター等の一時保護の枠組みでは対応が難しいケースについて、次の支援までの間、自宅等の困難の原因がある場所に身を置かず、継続した支援を提供することができた。
- ・外出もでき、携帯電話も自由に使えるなど比較的緩やかな運用であることが、利用者や支援者からは継続して評価されており、既存の制度からは零れ落ちてしまうケースへの支援の必要性を明らかにすることができた。
- ・問い合わせ等はあったが、その後本人が希望しない、利用条件に合致しない等の理由により利用に至らないケースもあり、目標を達成することができなかった。一方で、一時保護で対応できないケースの選択肢として、配暴センター職員から評価を得ている。

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	レスパイト事業利用者数	15人 (アウトカム)	2人	13%

事業の概要

③ 相談機関等へのつながり支援事業

相談機関等へのつながりを作るきっかけとして、様々な相談機関を掲載したリーフレット及び出張型相談事業のチラシを同封した生理用品を配布した。

概要

- 配布場所：仙台市男女共同参画推進センター
(エル・パーク仙台、エル・ソーラ仙台)
各区役所・総合支所(計7箇所)
市民図書館、各区図書館(計7箇所)
子育てふれあいプラザ各館(計5箇所)
各支援団体(計10団体)

○配布数：8,000個



リーフレット



結果・実績

- ・支援につながっていない人に、生理用品と合わせて支援先情報を届けることができた。
- ・生理用品と同封配布した、相談機関を掲載したリーフレットをもって仙台市男女共同参画推進センターの相談窓口を訪れるケースもあり、効果が表れてきている。

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	生理用品の配布数	8,000個 (アウトプット)	8,000個	100%

④ 学び直しプログラム提供事業

何らかの学習支援が自己肯定感の回復、キャリア選択及び就業継続に有効とみられる相談者に対して、個々の状況に合わせたキャリアカウンセリングと個別学習支援を並行して実施する学び直しプログラムを提供した。

概要

- 対象者：10代で十分な学びの経験を得られない等、様々な困難により自立を目指す活動に影響を受けている女性
- 実施人数：8人

実施内容

- ・一人ひとりの希望や目標に合わせた学習科目等を設定し、個別計画を策定。月2回程度の個別指導日を設定し、伴走型で取り組みをサポートする。
- ・性別役割分担意識や社会の構造的な問題等により就業や日常生活において影響を受けている女性に向け、自己肯定感を回復させ生き方を自分で選択できる力を養い、思い描くキャリア目標を後押しする。
- ・利用者の状況に合わせて、託児の利用も可能。また、DVや性暴力の被害経験があることを想定し、対応するスタッフは全て女性を配置している。



結果・実績

- ・高卒認定試験の合格や転職に向けたスキルアップなど、各自のキャリア目標に応じたプログラムの提供が出来た。
- ・職業訓練校や専門学校の入試、高卒認定試験の合格などを目標としていた利用者が6名いたが、5名について目標を達成した。
- ・概ね、学習意欲の向上が自己肯定感の高揚や就業意欲の向上につながり、キャリアを考えるきっかけとなっている様子が見えてきた。

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	自己肯定感が向上した人の割合	70%以上 (アウトカム)	83%	119%